



# JARL香川

平成23年2月15日発行  
発行 J A R L 香 川 県 支 部

第 4 7 号

発行者 支部長 森國幹夫 JA5ARW  
編集者

大西安輝 JA5HNZ 平賀正明 JA5TOP  
誌間 哲 JA5UVT 渡辺庄平 JH5GTO  
今田善之 JJ5ECZ 藤本光宣 JG5ONU  
編集協力 JF5UTH

誌名日本アマチュア無線連盟 香川県支部報



平成21年度ハムフェスティバルin香川(平成22年3月14日) 於:丸亀市「アイレックス」

## ☆ ハムフェスティバル in 香川のご案内 ☆

JARL香川県支部では『ハムフェスティバルin香川』を下記のとおり開催します。年に一度の県内ハムの祭典です。ローカル各局お誘い合わせの上、多くの方が参加されますようご案内申し上げます。

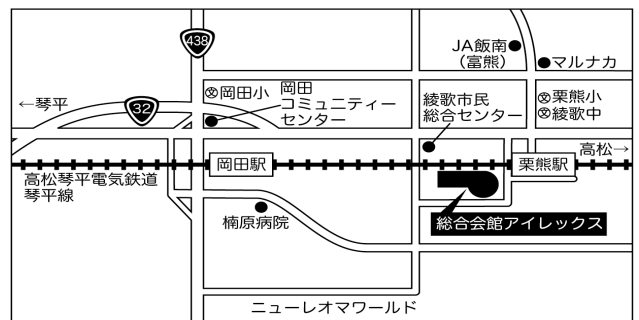
また『自作品展示』は当日会場までご持参ください。

記

日 時 平成23年3月13日(日)  
13時より16時まで(受付は11時～13時半)  
会 場 丸亀市綾歌総合文化会館(愛称:アイレックス)  
丸亀市綾歌町栗熊西1680 電話0877-86-6800  
<http://www.marugame-ilex.org/>  
催 物 自作品展示、メーカー展示、ジャンク市、  
クラブ紹介等のブース(当日受付)  
次 第 行事及び会計報告、監査指導概況

- 講 演 1. 平成23年度中に新法人設立と今後の動き  
2. 香川大学無線通信研究会活動報告および次期香川衛星について

各種コンテスト表彰  
お楽しみ抽選会



## ★ 戦後ハム開局時の思い出 ★

JA5AA 久米正雄

昭和20年8月15日、わが国は武器を捨てた。翌9月に徳島工専を繰上げ卒業後直ちに陸軍航空技術本部に入隊する準備を進めていた私は茫然自失。

戦災で焼け野原と化した徳島では就職先などあろう筈も無くルンペン生活が始まった。

当時の食糧難はひどいもので命を繋ぐ為には野草まで口にしていた。そんなとき穴吹川の発電所で働く父から、近隣の農家で調達したサツマイモを徳島市内の上司のお宅まで運搬するよう命ぜられ、闇物資摘発に目を光らす警官の目を逃れながらお届けした。

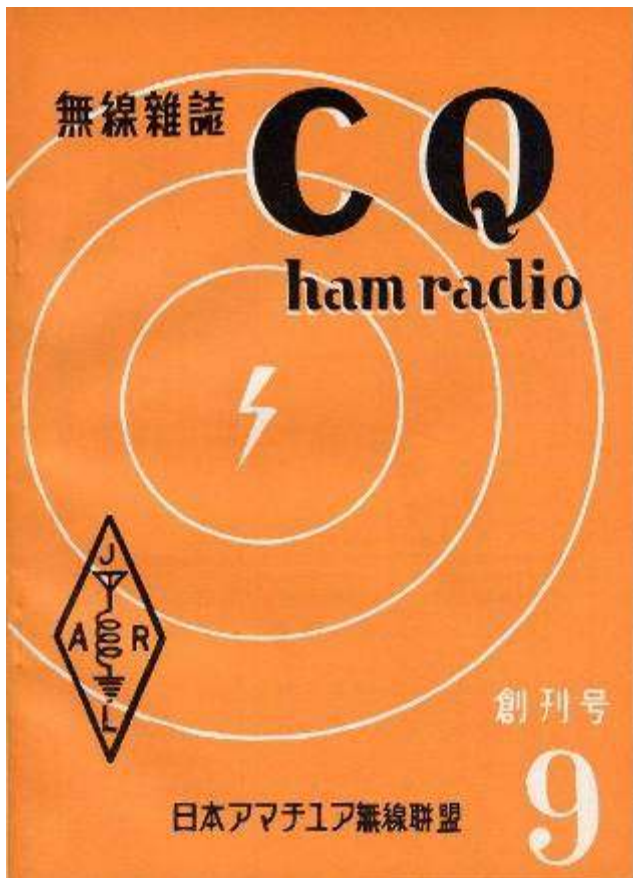
その方の計らいで、翌年4月四国配電に採用され徳島支店で働くこととなった。

一応生活の目途がたつと、気になるのはアマチュア無線のこと。まずトントー送受のトレーニングに励みつつ、古い受信機に手を加えて14メガでのSWLを再開した。

進駐軍兵士のJコール(のちJAさらにKAに変更)やKR6(沖縄)のGI達の強力なシグナルがバンドを席卷していた。

一方、終戦直後の20年9月には、早くも旧JARLメンバーの有志により関係当局との折衝が始まり、21年5月1日、再発足したJARLには多くの同好の士が集まりハム開放への動きが活発化していた。

焼け残った書店で21年9月創刊のCQ誌(当時のJARL機関紙)を見つけた私は、早速準員として入会し、CQ誌のCalls Heardコーナーへ受信レポートを投稿した。



CQ誌創刊号(昭和21年9月1日発行 32ページ 定価4円)

エディターの庄野さん(現 JA1AA 先輩)からお手紙を頂き、氏が中学の先輩と知り、以後ご指導を戴くこととなった。

講和条約の発効した26年4月、民主憲法に基づく我が国初の「電波法」が施行、ようやく再開への見通しが明るくなってきた。

26年6月、新法にもとづく第1回国家試験が始まり、私は翌27年2月期の試験に挑戦、試験場は旧詫間電波高校。試験場で5AB田中さん、5AG太田さんと顔合わせ、5AF大塚さんとも初の出会い、ととも長い間ご厚誼を頂くこととなる。そのAF・AG両OMとも今は亡く、今はご冥福を祈るばかり。一次試験の電信送受試験、翌月の学科試験をクリアー、日ならずして第1級アマチュア無線技士の合格通知を手にするやうやく神棚に祀った。

早速従事者免許証を取得。庄野先輩から開局申請の準備方督励のお手紙を頂き、いろいろ頭をひねりながら申請書をつくり先輩に郵政本省への提出方を依頼。7月10日付けだった。DXを主力にと、14メガ A1:45w、A3:10w で申請。

まだ戦後の混乱が続く当時、ハムの免許なんて当分駄目だろうと半ば諦めながらSWLに熱中する毎日だった。

戦後の復旧が進むにつれ電力需要が予想外のテンポで増え、供給力が極度に不足しダムの貯水量や発電量などに大口需要家ともども関係者一同一喜一憂していた。

給電係に所属していた私は、毎朝これらのデータを収集して上司に報告するとともに、報道機関の記者を集めて周知する仕事を担当していた。

ある日、毎日顔を会わせている某新聞の記者から、「今朝のわが社のある地方版に、アマチュア無線の免許が下り、その中に『四国の久米』とあり、取材したくも住所がわからず云々・・・との話。

「えっ、ほんと? それは他ならぬこの私ですわ」と、まさに天にも昇る心地。つまり27年7月29日、全国30局の申請者に対し電波監理委員会から「予備免許」が発給されたのである。まもなく予備免許状が届き JA5AA のコールを目にしてまさか私ごとびっくり。その30局の顔ぶれは

1AA 1AB 1AC 1AD 1AE 1AF 1AG 1AH 1AI 1AJ 1AK 1AL 2AA 2AB 2AC 2AD 3AA 3AB 3AC 3AD 3AE 3AF 5AA 6AA 6AB 6AC 8AA 8AB 2WA(のち9AA)1WA(のちφAA)であった。

8月半ばには早くもオンエアーする局も現れた。これで日本人によるJAのシグナルが晴れて世界を駆けめぐることになった。

振り返ると戦前のハムの活動停止から既に12年に亘る雌伏(しふく)の時が流れていた。

予備免許が下りると次は無線局の建設工事、ちっぽけなキカイだが私にとっては大仕事、予備免許で指定された期間は1月しかない。有り合わせの部品をかき集めて突貫工事にかかる。

8月28日落成。9月14日に落成検査を受検の通知を受けた。当時は交通が不便で、四国電波監理局の検査官も松山から夜行列車で高松へ、高德線に乗継いでのお出まし。

ハム局の検査は検査官各位も勿論初めてのこと、本省か



★ 8 J 5 T A 開 局 ★

JH5EZB 三木 博之

高松市制120周年、高松市趣味協会創立30周年を記念して10月1日から11月30日までの2ヶ月間、8J5TA局が運用されました。

開局にあたり、JARL香川クラブ会長のJH5LYW(三好OM)の挨拶を筆頭に、開局式が高松市三谷町のJARL香川クラブ運用地で行われました。

開局式終了後、早々に三好会長自らCQを出され百数局の交信をされ、各クラブ員にバトンタッチされました。

らの通達らしき文書と首っ引きで、兎に角微に入り細を穿つての検査。

例えば送信機はもとより受信機に首を突っ込んで真空管の名称を申請書と照合、また電波の質を測定する際は、運用規則通り「ただ今試験中 本日は晴天なり こちらは JA5AA」これを3度繰り返す。CWでは「EX EX EX DE JA5AA JA5AA JA5AA V V V ……」とやる。

電測の際は、500メートルほど離れた川縁の土手に電測器を据え、ハンカチを振って合図を受けてキーを叩いたりマイクで喋る。最後には近隣の家々を廻ってラジオのBCIの調査。この間も試験電波を反復。

とに角10時から18時まで昼食時を除き7時間の作業。最後に「良い成績で合格ですが、私どもが手続きを終えて本省から免許状が届くまでは絶対に電波を出さないように」と、釘をさされてガックリ。

10月7日付けで待ちに待った免許下付。運用開始に先立って無線従事者選任届と運用開始届、これらを投函してようやく運用を始めることができた。

ときに昭和27年10月13日の夜。オンエアーを始めたところ、従来駐留米軍のGI達が使っていたJAのコールで日本人が出始めたものだから、UC扱いに見られることもあり、その説明や戦前のOM達の消息の問い合わせなどに応えるため、どうしても長いQSOになった。

CWだから余計に時間がかかった。DXのハムの情報などを知りたいという願ひもあって長話になることもあった。たどたどしい英語だったが、思い返すとよくもまあ辛抱強くお相手をして呉れたものだ感謝している。

DXバンドに顔を出す以上、何とか早くDXCCを完成したいと頑張ったが、カントリーの少なかつた当時、ローパワーとお粗末なアンテナではなかなかのこと、切齒扼腕(せつしやくわん)の毎日だった。

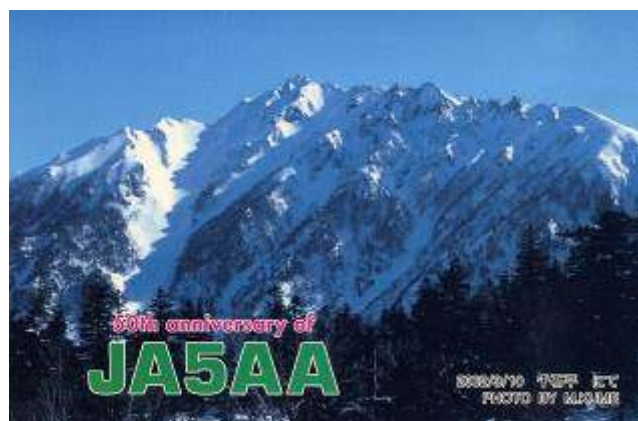
でも旧ソ連のUゾーンが勢揃いし始めたりアフリカの国々の電波が出始めるなどで、何とか達成し1958年4月ARRLからお墨付きを受取ることができた。かくして手探りで挑んだDXサーの一人旅はようやく一段落を迎えることができた。 おわり



開局式



運用中



開局50周年記念 QSL CARD

期間中は電波状態もすぐれず、良い環境ではありませんでしたが、各局の応援のおかげ様で、運用結果は下記の通りとなりました、色々とお世話になりました。

1エリア	2エリア	3エリア	4エリア	5エリア	6エリア
1,495	690	640	407	319	430
7エリア	8エリア	9エリア	0エリア	D X	合計
353	176	131	264	82	4,987

★交信の際はきちんとコールサインを言いましょう！★

監査指導委員長 JA5HNZ 大西 安輝

1. 平成22年度上半期の四国管内における無線局等に対する混信妨害等の申告状況件数は28件(内訳は下記の通り)

- ・重要無線通信への混信妨害申告 9件
- ・アマチュア無線に関する申告 13件
- ・一般業務無線に関する申告 3件
- ・電子機器等への影響に関する申告 3件

上記の内、重要無線通信妨害9件の内訳は次の通り

- ・電気通信事業に関する申告 5件
- ・消防・防災用に関する申告 2件
- ・海上保安に関する申告 0件
- ・その他の申告 2件

「重要無線通信妨害」とは、電気通信業務又は放送の用に供する無線局、人命若しくは財産の保護又は治安の維持の用に供する無線局、気象業務の用に供する無線局、電気事業に係る電気の供給業務又は、鉄道事業に係る列車の運行業務の用に供する無線局その他混信妨害を受けることによって社会的影響が発生すると認められる無線局に対する混信妨害及び混信妨害に発展する恐れのある電波発射等をいう。

県別申告受付件数

香川県8件、徳島県2件、愛媛県9件、高知県8件、管外1件

申告対応、措置状況

- ・調査・指導・措置等により解消したものの25件(内訳)
  - 不法無線局関係4件、運用違反関係8件、機器故障等7件、情報提供・相談等4件、自然消滅2件、所管局へ移管したものの1件
  - 調査継続中のものの1件

2. 平成22年度上半期の捜査機関との不法無線局共同取締り、電波法4条違反の取締り

- ・香川県内(警察2回)
  - 不法アマチュア無線2件
- ・徳島県内(警察2回、海保1回)
  - 不法アマチュア無線8件
- ・高知県内(警察2回)
  - 不法アマチュア無線2件

以上で、その他アマチュア無線の相談はバンド使用区分違反、コールの送出違反の相談が多いそうです。

バンド使用区分違反には注意してください。これも広義には電波法違反です。

コール送出違反は勘違いも多いようで、J〇5□□□これ全てを所定の時間ごとに送信してください。□□□の送信だけではコール送出違反になります。

全国でもアマチュア無線の申告が多数を占めるそうです。法規を守ってアマチュアはきれいな運用をする、と言われるようになりましょう。

★ 8 N 5 C L E A N ★

高層建造物によって起こるテレビ電波の障害、あるいは免許を受けていない無線機の使用、電気器具などの異常によって起こるテレビ・ラジオの放送受信などの障害を防止する趣旨で、毎年10月を「受信環境クリーン月間」と定め電波障害の未然防止を推進する運動を行っている。



その活動のPRを目的に昨年7月から10月末まで四国4県持ち回りしました。

京極クラブの皆さんの協力で丸亀市、東かがわ市、善通寺市の各地で運用しました。QSLカードは電波障害防止の周知啓蒙を目的とした図案コンクールに入選した作品です。

エリア別交信局数(7月1日～7月30日)

1エリア	2エリア	3エリア	4エリア	5エリア	6エリア
580	297	194	156	90	146
7エリア	8エリア	9エリア	0エリア	-	合計
230	109	54	109	-	1965

★製作講習会に参加して★

JA5IJL 林 廣次

昨年9月12日丸亀市栗熊コミュニティセンターで開催された、周波数カウンターの製作の技術講習会に参加しました。

午前中CALカウンター製作説明があり、講師のJR3TGS 稲田さんより周波数カウンターの原理の直接係数方式では正確な「1秒」が必要であることやその他の説明がありました。

午後は製作の準備や部品の確認をする時、基板が無いのに気づき9月26日の再開となりました。

製作技術講習会では視力が衰えて来ている私には部品は細かく、老眼鏡にルーペを駆使しても焦点が定まらずハンダ付けがうまくいかず大変苦労しましたが、技術講習会でのCRカラーコードの読み方などが大変に勉強になりました。となりの方に大変お世話になりましたが全員が製作を完成しました。

私も最後の確認で精度は+15Hzでした。30MHzまで測定可能です。同講習会を計画された、製作講習会担当の皆様には大変お世話になり有難うございました。





★第23回全日本ARDF競技大会の県内開催★

ARDF(Amateur Radio Direction Finding)競技大会は連盟の総会と同じく各エリア持ち回りで開催しており、四国では第6回大会が1994年愛媛県内で開催されて以来の開催となり、香川県支部では開催に向けての準備委員会を昨年夏に開き大会の準備を進めています。

大会参加者は200名前後で大勢のスタッフが必要ですので県内会員の皆様のご協力をお願い致します。

記

1.開催月日 平成23年10月29日～30日

(29日:3.5MHzエキシビジョン、30日:144MHz本大会)

2.会場 香川県下東部地方

★ A R D F 審判員講習会 ★

第23回全日本ARDF競技大会をひかえ、多くの方にARDF審判員の資格を習得していただきたく思いB級審判員講習会を開催します。

記

1.日時 平成23年4月24日(日)13時～17時

2.場所 栗熊コミュニティセンター(旧綾歌町役場構内)

丸亀市綾歌町栗熊西1638

3.参加資格 満18歳以上でJARL会員・非会員を問わない

4.参加費 1000円(テキスト代)

5.持参品 筆記用具、メモ用紙

6.申込方法 コールサイン、郵便番号、住所、氏名、生年月日、連絡先を記入したハガキを下記申込先まで

7.申込先 761-8085 高松市寺井町205-1 平賀 正明方

ARDF 審判員講習会係宛て

8.その他 当日、審判資格の申請手続きを希望される方は申請料1000円と写真(縦30mm、横24mm)をご用意下さい。締切4月15日(金)必着

★第18回北四国ARDF競技大会★

第18回北四国ARDF競技大会は昨年11月14日東かがわ市引田スポーツセンター武道館周辺で開催。ARDF日和の秋晴れ、来る全日本大会の前哨が大勢で盛大な大会でした。

総合順位、コールサイン、県、時間、探索個数

<<W19クラス>>

1 J J 5 G V X 徳 1:39:35 2

<<W21クラス>>

1 J I 2 J A G 三 1:09:13 3

2 内田 温子 香 1:20:39 3

3 J G 5 T J J 香 1:11:29 2

\* J E 4 W M S 山 2:06:32 3

<W50クラス>>

1 J F 4 P G C 山 1:23:19 1

<M19クラス>>

1 外川 健太 奈 1:46:10 4

2 吉川 昂佑 奈 1:49:41 4

3 鈴木 翔 愛 1:33:51 3

4 我有 弦樹 奈 1:52:32 3

5 矢野 琢也 愛 1:39:50 2

6 野口 敬輔 愛 1:49:24 2

7 永島 充倫 愛 1:49:33 1

\* 森 晶輝 徳 2:01:13 2

\* 矢野 晃平 愛 2:06:01 2

<<M21クラス>>

1 J H 5 F U L 愛 1:04:35 5

2 J K 4 V B Z 広 1:10:36 5

3 J I 2 D K P 三 1:27:17 5

4 瓢 幸志 兵 1:43:24 5

5 J A 2 I J J 大 1:31:23 4

6 齊藤 隼 香 1:32:16 4

7 桧垣 諒 香 1:44:08 3

8 細田 貴之 香 1:51:51 3

9 尾木 宏夢 香 1:37:05 2

10 谷川 準 香 1:37:43 2

11 鈴木 信 香 1:55:23 2

\* 旗田 尚史 岡 2:10:34 2

\* J J 5 H O E 徳 コール未通 4

<<M40クラス>>

1 J G 5 E U Q 香 1:31:53 4

2 J F 3 K R L 奈 1:36:28 4

3 J R 5 P V C 徳 1:42:49 3

<<M50クラス>>

1 J H 5 L Y W 香 1:33:36 4

2 J R 9 E C D 福 1:34:54 4

3 J G 5 K D P 愛 1:05:40 3

4 J R 5 C V J 徳 1:43:36 3

5 J R 5 G W R 高 1:13:14 2

6 J H 5 B A Y 徳 1:44:43 2

<<M60クラス>>

1 J A 5 U V T 香 0:59:12 3

2 J A 5 C P O 高 1:25:45 3

3 J A 5 C Q B 愛 1:28:25 3

4 J A 5 I C Y 愛 1:28:44 3

5 J I 5 J C Y 徳 1:34:04 3

6 J A 4 K G H 山 1:36:28 3

7 J I 5 X T P 香 1:38:02 3

8 J A 5 N C 徳 1:38:13 3

9 J H 5 S A L 愛 1:39:53 3

10 J A 4 X R Y 山 1:44:32 3

11 J A 5 J L U 愛 1:53:20 3

12 J A 5 E G U 香 1:14:08 2

13 J E 4 T L W 山 1:23:39 2

14 J J 4 B F O 広 1:36:11 2

15 J A 5 A L E 徳 1:43:50 2

16 J I 5 G T K 徳 1:47:30 2

17 J F 5 I D V 愛 1:56:52 2

\* J A 5 M S G 徳 2:14:12 0

\* J A 5 D I F 愛 欠場

\*印は失格(時間超過、無探索)



★2010四国地方ARDF競技大会★

四国地方ARDF競技大会は昨年6月20日高知県東部「芸西村の家」周辺で開催。雨の山中、起伏に富んだコースで時間いっぱい使う大会でした。

総合順位、コールサイン、県、時間、探索個数

<<W19クラス>>

1 J J 5 G V X 徳 1:40:02 1

<<W21クラス>>

1 内田 温子 香 1:52:40 2

2 土居 世奈 香 1:40:04 1

3 向井 千恵 香 1:52:02 1

\* J E 4 W M S 山 1:39:49 0

<<W35クラス>>

\* J F 5 I C B 香 2:01:32 3

<<W50クラス>>

1 J K 6 X E Y 宮 1:39:12 2

2 J I 2 J A G 三 1:39:35 1

\* J A 5 C U E 高 1:35:25 0

\* J F 4 P G C 山 1:49:41 0

<<M19クラス>>

1 吉川 昂佑 奈 1:47:19 1

\* 外川 健太 奈 2:13:57 1

\* 我有 弦樹 奈 1:41:12 0

<<M21クラス>>

1 J F 5 I C A 香 1:50:48 5

2 J K 4 V B Z 広 1:56:17 5

3 J H 5 F U L 愛 1:48:16 3

4 J F 5 M E D 香 1:52:25 3

5 J G 5 O B X 香 1:55:56 3

6 J I 2 D K P 三 1:58:10 3

7 糸瀬 理 香 1:52:36 2

8 齋藤 隼 香 1:57:57 2

\* 畑賀 健 香 2:12:16 2

\* 鈴木 信 香 2:01:59 0

<<M40クラス>>

1 J G 5 R V Q 徳 1:53:54 3

2 J G 5 E U Q 香 1:55:04 3

3 J F 3 K R L 奈 1:47:56 2

4 J R 5 P V C 徳 1:54:28 2

<<M50クラス>>

1 J G 5 W T P 香 1:52:08 3

2 J H 5 L Y W 香 1:55:40 3

3 J R 5 U X A 徳 1:34:38 2

4 J H 5 S A L 愛 1:52:10 2

5 J I 5 G N D 徳 1:43:06 1

\* J R 5 G W R 高 2:00:24 1

<<M60クラス>>

1 J J 4 B F O 広 1:44:11 3

2 J A 5 U V T 香 1:54:05 3

3 J E 4 T L W 山 1:30:45 2

4 J I 5 G T K 徳 1:41:02 2

5 J M 3 V E C 兵 1:41:22 2

6 J A 5 I C Y 愛 1:44:07 2

7 J A 4 B F W 山 1:45:11 2

8 J I 5 G Z L 香 1:48:35 2

9 J I 5 J C Y 徳 1:55:08 2

10 J A 5 A L E 徳 1:53:26 1

\* J I 5 X T P 香 2:06:45 3

\* J A 4 X R Y 山 2:09:17 1

\* J G 5 K G T 徳 2:10:56 1

\* J A 5 S R J 高 1:53:15 0

\*印は失格(時間超過、無探索)



# ★2010香川マラソンコンテスト結果発表★

2010年12月1日～12月15日

順位	コールサイン	氏名(社団名)	得点	日数
《社団局マルチバンド・マルチモードの部》				
①	JH5YVC/5	高松クラブ・ハムクラブ	34,160	15
2	JA5YDE	JARL香川クラブ	25,864	15
3	JA5YWT	高松たぬき無線クラブ	1,596	15
4	JH5YRW	ニュースカイクラブ 讃岐	528	10
5	JH5YHR	京極ハムクラブ	242	3
《個人局マルチバンド電信の部》				
①	JE5XIC/5	丸岡 俊 晴	15,345	15
《個人局マルチバンド・マルチモードの部》				
①	JA5YR	大 西 喜 夫	69,921	15
②	JJ5ECZ	今 田 善 之	24,675	15
3	JI5XTP	坂 内 信 洋	19,575	15
4	JH5LYW	三 好 伸 幸	9,177	15
5	JA5KF	吉 井 嘉 寿 憲	6,656	15
6	JA5ARW	森 國 幹 夫	4,472	14
7	JA5GGB	福 寄 敏 一	3,283	15
8	JR5KPV/5	窪 田 誠 一	2,318	10
9	JG5EQV	岡 崎 正 和	552	14
10	JA5NRC	増 田 始	220	2
11	JA5MG	稲 毛 章	9	1
《1.9MHz 電信の部》				
①	JA5DEU	金 村 善 光	2	1
《7MHz 電信の部》				
①	JA5GDN	鷺 川 健 二	272	11
《14MHz 電信の部》				
①	JR5DPV	宮 西 正 樹	99	6
《14MHz 電話の部》				
①	JA5AHM	天 野 英 弘	6	2
《21MHz 電話の部》				
①	JE5HTN	加 藤 秀 和	288	8
2	JA5ETQ	馬 場 宗 俊	150	10
3	JA5JGV	大 塚 隆	42	4
《28MHz 電話の部》				
①	JE5DUL	谷 川 幸 治	104	5
《50MHz 電信の部》				
①	JH5EZB/5	三 木 博 之	576	13
《50MHz 電話の部》				
①	JA5TFJ	横 田 壽 夫	1,653	15
《144MHz 電話の部》				
①	JA5LDP	松 浦 肇	3,712	15
2	JR5SLM	喜 田 忠 良	966	15
3	JA5ITW	合 田 友 春	725	14
4	JA5AEZ	近 藤 正 晴	252	8
5	JH5HTX	大 矢 根 将 巳	2	1
《430MHz 電信の部》				
①	JE5TZO/5	大 橋 到	70	3
《430MHz 電話の部》				
①	JA5VO	田 中 崇 弘	2,496	15
2	JG5SPA	杉 山 壽 洋	1,568	15
3	JR5PPN	鈴 木 重 香	1,426	15
4	JI5SAO/5	丸 山 誠 誠	1,232	15
5	JG5BXU/5	黒 島 雅 文	990	15
6	JA5OGX	上 枝 秀 数	936	15
7	JA5UVT	詫 間 哲 哲	336	12
8	JF5VHW	福 野 徹 徹	252	14
9	JA5CKS	井 上 高	2	1
《1.2GHZ 電話の部》				
①	JG5WUN/5	久 保 正 弘	875	15
2	JA5PJ	大 澤 淳 一	80	5
《5.6GHZ 電信の部》				
①	JJ5HIY	俣 野 航 輝	12	3

## 《5.6GHZ 電話の部》

① JJ5HYU 俣 野 祐 吏 20 4

## 《ATVの部》

① JA5DCM 芥 忠 雄 24 4

## 《SSTVの部》

① JA5AOA 谷 本 征 治 744 14

・ログ提出局 48局(参加局数222局 ログシートより)

・10日以上局 31局

・○印は表彰対象局

## ★ 香 川 大 学 無 線 通 信 研 究 会 ★

JR5YAT 内田 温子

平成22年度もお世話になりました。この一年、本研究会は以下のような活動をしてきました。

### ・UNITEC-1 初期運用電波受信

5月21日に打ち上げられた UNITEC-1(愛称:しんえん)の初期運用電波の受信を行いました。「しんえん」は金星軌道を目指した衛星で、アマチュア無線の5.2GHz帯を使用しています。JA5COYさんからパラボラアンテナ(3m)をお借りして、JA5UVTさんにご協力頂き、受信可能と考えられる約10日間、運用を行いました。「しんえん」からの電波は受信できませんでした。

### ・移動局設備の整備

JSTかがわ源内ネットワークが実施しているアウトリーチ活動の一環として衛星 KUKAI の電波受信イベントを行うために、移動局設備の整備を行いました。移動局設備は大学の地上局と同等のもので、衛星追尾やドップラーシフト追従を自動で行え、イベント中に地上局から電波を送信することもできるようになりました。今後は定期的にメンテナンスを実施し、イベントとしての見せ方の工夫をしていきます。

### ・無線電波による衛星間距離の測定方法の検討

現在開発中の次期衛星は、KUKAI と同様に親子衛星で、KUKAI に搭載した無線通信システムと同様のものを搭載しています。この衛星では、テザー(親子を結合しているひも)を1km(KUKAI では5m)伸展するミッションを考えています。そこで、親子が1km伸展した場合に、受信電波から親子間の距離が推定できないか検討しています。

### ・ARDFへの参加

6月の四国地方 ARDF(高知)と11月の北四国 ARDF(香川)に参加しました。今年は新入生メンバーも5名参加し、反射波や地図の見方に苦戦していましたが、最低1個は見つけるという目標を掲げて楽しませていただきました。タイムオーバーや、見つけられなかったメンバーは来年度のリベンジに燃えているようです。

来年度は、受信イベントの実施や ARDF への参加等を行うとともに、次期衛星の FM(フライトモデル)開発を進めていく予定です。構想段階ですが、学内でメンバー向けに無線の講習会なども実施できればと考えています。しかし、無線電波による衛星間距離の測定方法やアマチュア衛星としての在り方など、課題もあります。皆様、これからもご協力の程よろしくお願ひいたします。

★新法人への定款改正案成立と今後の動き★

JARL副会長 JA5MG 稲毛 章

平成20年12月1日から施行された「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」により、わがJARLも法律施行後5年の間に「一般社団法人に移行するか」「公益法人の認定を受ける」かの選択を求められており定款、規則等の改正案を約4年間にわたり詳細に検討し昨年11月21日大阪府寝屋川市で開催された臨時総会に提案いたしました「社団法人日本アマチュア無線連盟の定款、規則及び選挙規程の全面改正並びに一般社団法人日本アマチュア無線連盟の社員選出のための臨時社員選挙実施要領の承認の件」が投票による採決の結果、委任状を含む投票総数18,453票、賛成17,917票の圧倒的多数により可決・承認されました。その際は私への多くの委任状を託していただき感謝しております。

一般社団法人への定款・規則等で改正された主な点は「社員制度」取り入れたことです。正員約数百名に対して1名の社員数としました。そして連盟の最高議決機関は「社員総会」となり、この場で会員の意見などを代弁するのが社員となります。そのため全国くまなく社員を選出していただく必要があり、連盟の全会員の組織である「支部」に重きをおき、各支部から1名の社員、アマチュア無線再開後から続いているエリア単位を重視して10エリアから総計84名の社員を選出いたします。

後は大幅に改正されたところはありませんが、役員の方の定年制導入とかすべての選挙の投票が単記になりました。

定款の可決・承認を受けて今後の新法人設立に向けての手続きなど概略の動きですが

\* 本年3月上旬頃に認可申請書を公益認定等委員会に提出予定。

\* 夏から秋にかけて2種類の社員選挙を実施

・全国54支部から支部毎に各1名の社員

・10エリアから総計84名の社員

四国エリアからは4名の社員を四国内の約2,100余名の正員が投票して選びます。是非香川からも立候補をお願いいたします。

両方の選挙とも定員内であれば無投票当選となりますし、欠員があっても当選社員数が100名以上であれば補充選挙はありません。

\* 各支部毎に選出された社員がその支部の支部長となります。もし社員のいない支部が発生した場合は、支部活動には支部長が必ず必要ですので、連盟会長がその支部内の正員から適任と思われる方を支部長として委嘱することになります。

\* 新社員が決定されましたらこれをもとに、設立登記の手続きにはいりますので、早ければ年内に「一般社団法人日本アマチュア無線連盟」が誕生いたします。

\* 平成24年2月に役員候補の選挙を全正員で実施します。

\* 平成24年6月に最初の「社員総会」が開催されます。

今後とも会員皆様方の力によって新社団法人が益々発展するようにご協力・ご尽力をお願いいたします。

平成22年度活動報告

- 22.06.27 支部・クラブ代表者会
- 22.09.12 製作技術講習会(2回目、同26日)
- 22.11.14 北四国ARDF競技大会 (香川県)
- 22.12.01 香川マラソンコンテスト(15日迄)
- 22.12.12 支部役員会
- 23.01.09 コンテスト委員会
- 23.02.13 支部役員会
- 23.02.15 支部報「JARL香川」47号発行
- 23.03.13 ハムフェスティバルin香川

平成23年度活動計画

- 23.04.24 ARDF審判員講習会
- 23.06.26 支部・クラブ代表者会
- 23.09.01 香川県総合防災訓練
- 23.10.29 全日本ARDF競技エキシビジョン大会(3.5MHz)
- 23.10.30 第23回全日本ARDF競技大会
- 23.11.13 北四国ARDF競技大会 (愛媛県)
- 23.12.01 香川マラソンコンテスト(15日迄)
- 23.12.11 支部役員会
- 24.01.08 コンテスト委員会
- 24.02.12 支部役員会
- 24.02.15 支部報「JARL香川」48号発行
- 24.03.18 ハムフェスティバルin香川

平成21年度収支状況(円)

前年繰越高		126,764
収	地方本部費	281,200
	雑収入	30,000
	受取利息	118
	合計	311,318
支	会議費	31,155
	催物費	131,983
	通信費	0
	交通費	0
	消耗品費	0
	事務印刷費	120,432
	コンテスト費	56,433
出	賞典費	0
	雑費	10,000
	合計	350,003
繰越高		88,079

平成23年度予算(円)

収	地方本部費	268,000
	雑収入	30,000
	合計	298,000
支	会議費	15,000
	催物費	115,000
	渉外費	0
	通信費	0
	交通費	3,000
	消耗品費	0
	事務印刷費	120,000
出	コンテスト費	44,000
	賞典費	1,000
	雑費	0
	合計	298,000

支部役員にJH5EZB三木博之氏に加わって戴きました。

## 平成22年度JARL正会員歴10年表彰

平成22年度JARL正会員歴が10年に満ちた局は下記のとおりです。

JA5ES JA5YM JA5EUV  
JH5JLE JI5VND

当該JARL会員正員歴10年表彰対象者で希望される方は「ハムフェスティバルin香川」で表彰しますので、事務局までハガキかE-Mailで申込んで下さい。

香川県支部事務局 〒761-8084 高松市一宮町774

渡辺 庄平方

E-Mail jh5gto(あ)md.pikara.ne.jp (あ)はアットマーク

## 編集後記

壊れたままのアンテナが乗ったタワー、いかにも使われてなさそうなタワーが県内あちこちで目につきます。アマチュア無線に興味なくなったのか、年齢のためタワーが維持できなかったのかその理由はわかりませんが、アマチュア無線の人口の減少を実感させられる光景です。いっぼうで昔やっていて仕事の関係で中断していたという人が、リタイヤを機会に再開するケースが増えているそうです。ハム人口減少の昨今、根本的な解決にはなりません、一時的にも減少にブレーキがかかることはよいことですね。ところで先ほどの使われなくなったタワー、欲しい人にスムーズに譲渡できるしくみがあればいいと思っています。一石多鳥、資源の有効活用の観点からもいいと思うけど。(ECZ)

みんなの自覚で きれいな電波



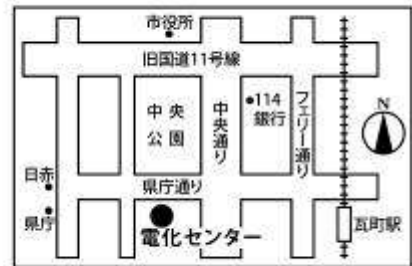
## 四国受信環境クリーン協議会 香川県連絡会

事務局 高松市錦町1丁目12-7  
NHK高松放送局内  
TEL(087)825-0155

アマチュア無線 営業無線 電子パーツ 家庭電化製品  
パーソナルコンピューター オーディオ製品 何でもそろろ

## (株)電化センター

〒760-0018 高松市天神前4-35(中央公園南)  
TEL 087-862-6077 FAX 087-833-4995



## ICOM HF~1200MHzをカバーするオールラウンダー。



- HF~1200MHz\*までをフルカバー。 \*オプシヨンのUX-9100が必要。
- 簡単設定を実現したサテライト専用モードを搭載。
- D-STAR®のDV(デジタル・ボイスモード)を搭載。
- 異なるバンドの2波同時受信を実現。
- バンドスコープを標準装備。

IC-9100を使用するには、最良のアンテナ実装の免許が必要ですが、また、アマチュア無線以外には使用できません。

HF+50MHz+144MHz+430MHz+(120MHz)  
<SSB/CW/RTTY/AM/FM/DV>  
100W+ランチャーパワー  
**IC-9100**  
希望小売価格 312,900円  
(本体価格 298,000円) **2** **2** **2**  
●IC-9100<50Wタイプ>  
希望小売価格 312,900円  
(本体価格 298,000円) **3** **2** **2**

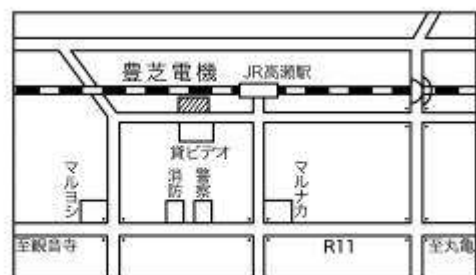
アイコム株式会社 本社 547-0003 大阪市平野区加美南1丁目1-32 四国営業所 〒760-0071 高松市藤原町3-19-43 TEL 087-835-3723 www.icom.co.jp

## 豊芝電機株式会社

〒767-0002 香川県三豊市高瀬町新名774

☎ (0875)72-3151 (代)

水曜日休み



JR高瀬駅より西300m